

由布山と久住山は恋がたぎ

由布山は姿が美しく「豊後富士」ともよばれる美男子の山でした。その由布山から少し離れたところには、おしとやかで愛らしい鶴見山がありました。

二人の山は幼馴染で仲がよく

口には出しませんが、互いに想いを寄せていました。

ある時、その由布山に恋の強敵が現れました。

それは、九州一背が高くてりりしい山、久住山でした。

久住山は鶴見の姫がとても好きになり、

「山の高さでは豊後の国はおろか、

九州でも私にかなう山はありません。

私はあなたのことが大好きです。

どうか、この気持ちをわかってください。」

と、ミヤマキリシマの花束を抱え、

はるか西から毎日、鶴見山のもとに通いました。

その熱心さに鶴見山も

「それほどまでに私の事を想ってくれるのなら……。」

と考えるようになり、心が揺れ始めました。

その事を知った由布山は鶴見山に

「確かに高さでは久住山にはかなわない。

だけど、私のところに咲いている花は

彼のところには負けない美しさがあります。」

と言うと、ミヤマキリシマ、エヒメアヤメ、

サクラソウでつくった花束を

鶴見山に捧げました。

そのまごころと優しさに心を打たれた鶴見山は

ついに由布山と結婚することを決意し

めでたく夫婦となりました。

次の日、何も知らない久住山が花束を抱えてやってきてはじめて二人が結婚したことを知りました。

久住山はがっかりして涙を流して悲しみ

遠く西のあなたへ帰っていき

二度と姿を現しませんでした。

* * *

この時、久住山が流した涙が志高湖となり、

鶴見山も由布山に寄り添うように並んですわることになりました。

そして二人の間に生まれた子が扇山となったそうです。